

## 最優秀賞

鹿児島県

いちき串木野市立市来中学校 三年 下 菌 朋 音

### 女性だからといって

「川上地区で建物火災が発生しました。川上分団はただちに出動してください。」

この合図と共に、母は動き出します。私の母は、川上分団で唯一の女性消防団員です。約六年前に知り合いの方に誘われ、加入しました。入りたてのころは戸惑いも多く、悩むこともあったようです。しかし、訓練やいろいろな大会への参加を通して、女性だからといってできないわけではないということに気づいたようでした。

いちき串木野市に女性消防団ができたのは、二〇一二年の二月だそうです。それまでは男性だけで活動していたといわれています。消防団の活動は、主に消防署の手助けや地域の見回り、災害時の訓練などです。消防署の本職の方々より仕事の数は少ないですが、救助活動もしており、いつ出動の合図がくるか分からないため、出動に向けて常に備えておかなければならない、とても大変な仕事なのです。

母はこれまで、操法大会や訓練、台風時の地域の見回り、援助活動、海亀パトロール、東京や奄美大島での研修など、たくさんの方に参加してきました。そして、私は母が活動しているところを何度も見てきました。これらの活動に真剣に取り組む姿は、いつもの

母とは全く違います。目つきが変わり、今は目の前の状況に真剣に目を向けているのだという思いが、とても強く伝わってきます。

消防団員数が減少する一方で、女性の消防団員数は年々増加しています。女性消防団員は、地域の実情にに応じて、消防団本部付けの採用とされたり、各地域を管轄する分団に所属したり、女性のみで組織する分団に所属したりと、活躍の形態はさまざまです。女性消防団は、「女性だから力仕事とかできなさそう」「体力を使うから女性は早く動けなさそう」という声があがると思いますが、女性消防団があることで、避難場所などで不安などを抱いている女性の方の気持ちに寄り添い、話をするなどして不安を和らげることもできるなど、メリットも多いのです。

とどころで感謝されることも多いそうで、やりがいもあるそうです。そんな母を見ると、女性だからといって何もしないのではなく、とにかくいろいろなことに挑戦するということ「チャレンジ精神をもつことの大切さ」に、改めて気づかされます。

「やらずにする後悔よりもやってする後悔」という言葉を、よく耳にします。まさにこのことだと思えます。私は、チャレンジ精神のある母をとて尊敬します。だからこそ、将来は私も消防団に入りたいと思います。今はとにかく、消防団の活動に真剣に取り組む母を見守りたいと思います。

